

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公開番号】特開2017-42537(P2017-42537A)

【公開日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2015-169434(P2015-169434)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の遊技が行われる遊技領域と、
正面視において前記遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の遊技部品が設けられる内部空間が形成される膨出部と、
遊技媒体が貯留される下皿本体と、
を備え、
前記下皿本体の少なくとも一部は、前記内部空間側に突出しており、
該下皿本体には、前記内部空間との連通を遮断する下皿カバーが備えられており、
前記遊技部品が取り付けられた状態では、前記内部空間を通じて前記下皿カバーが視認困難とされるが、
前記遊技部品が取り外された状態では、前記遊技部品が取り付けられた状態に比べて前記内部空間を通じて前記下皿カバーが視認容易とされる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

この種の遊技機は、正面視における遊技領域の下方に、遊技領域内に打込むための遊技媒体が貯留される上皿と、上皿の下側に配置され遊技媒体が貯留される下皿とを備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、このような遊技媒体を貯留する皿を備える遊技機においては、皿として

の機能を実現するうえでより好適なものが求められている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、遊技機においてより好適な下皿の構成を提案するものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、

所定の遊技が行われる遊技領域と、

正面視において前記遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の遊技部品が設けられる内部空間が形成される膨出部と、

遊技媒体が貯留される下皿本体と、

を備え、

前記下皿本体の少なくとも一部は、前記内部空間側に突出しており、

該下皿本体には、前記内部空間との連通を遮断する下皿カバーが備えられており、

前記遊技部品が取り付けられた状態では、前記内部空間を通じて前記下皿カバーが視認困難とされるが、

前記遊技部品が取り外された状態では、前記遊技部品が取り付けられた状態に比べて前記内部空間を通じて前記下皿カバーが視認容易とされる

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、より好適な下皿を提供することができる。